

御中

# 障害とは・・・

知的障害・発達障害・精神障害の相違点

2021年 月 日

あいち障害者雇用総合サポートデスク

1

## 本日のレジュメ

- 相違点を知る
  - 精神障がいの場合
  - 発達障がいの場合
  - 知的障がいの場合
  - 相違点のまとめ
- ハードルの調整
  - ミスをした時の感じ方 それぞれの例 (得意と苦手)
  - 知的障がいの特性 (得意と苦手)
  - ルールとマナーと生活管理
  - 企業にとっての支援機関

あいち障害者雇用総合サポートデスク

2

## 障害とは・・・発達障がいの場合

先天性である  
(生まれつき)

低年齢で発現(社会性が出てくる幼児期～)

脳の発達に凸凹ができています

凸=得意 凹=苦手

誰にでもある凸凹が、極端に(差が)大きい

Q. どこからが障害か?

本人が社会生活を行う上で支障が強く出た時(医師の判断)



ホルモンの分泌が  
上手くできない



症状に合わせた  
服薬



定期的な通院  
や  
周囲の配慮  
安定した作業

あいち障害者雇用総合サポートデスク

5

## 障害とは・・・知的障がいの場合

先天性である  
(生まれつき)

発達期(18歳)までに分かる

知的機能(知能指数に基準)の欠陥

適応機能(日常生活能力)の欠陥

両方で判断

見た目の成長と  
精神年齢の成長は

違う

軽度知的の場合  
精神年齢は  
12歳程度



多くの場合、「成長すればこれくらいわかるでしょ?」

精神年齢 = ことばの理解力

身体は成長しても、理解力は成長しません

伝え方の工夫は、常に必要です

あいち障害者雇用総合サポートデスク

6

## 知的障がいの特性（得意と苦手）



### 5つのポイント

1. 見た目年齢に惑わされない 軽度の場合、理解力はずっと「小学6年生」
2. 「はい」の返事は、挨拶 復唱や、やらせてみて確認をする
3. 視覚優位の情報処理 図や写真、見本を示す方が分かりやすい
4. ルールは理解、マナーは「？」 社内規範の整備ができる
5. 体験の刷り込みは得意 単純作業でも複数工程ができるようになるけれど、複数指示・急な予定変更はNG

## 知的障がいの特性（得意と苦手）



## ルールと生活管理 家庭との連携



- 連絡窓口の明確化 >>> 誰に伝える 会社 \_\_\_\_\_  
家庭 \_\_\_\_\_
- 連絡方法のルール >>> メール・電話・ノート 情報の「見える化」
- 支援機関との連携 >>> ルール化 情報共有と対応範囲

## 社内支援に向けて

### 企業内ジョブコーチ(企業在籍型職場適応援助者)の育成・配置

ジョブコーチとは、職場、障がい者への支援ノウハウを有する者  
 専門研修を受ける必要がある(6日間程度)

目的：障がい者の職場定着と雇用の拡大

役割：課題解決に向けたアドバイザー

### 障害者職業生活相談員の配置

専門研修を受ける必要がある(2日間)

